

第3期 ながさき農林業・農山村活性化計画の用語解説

(1) 五十音順

あ	
アグリビジネス売上額	農産物直売所、農泊、長崎四季畑の売上額の合計。
新しい生活様式	長期間にわたって新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、飛沫感染や接触感染等の対策を取り入れた新たな日常生活。令和2年5月、国の新型コロナウイルス感染症専門家会議の提言を踏まえ、厚生労働省が実践例を示した。
新たな森林管理システム	森林経営管理法に基づき、適切な経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の意向を確認した上で、経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者に経営管理を集積・集約化し、経営に適さない森林は市町村が管理を行う仕組み。
荒茶	産地の茶工場で生葉から一連の製造工程を経て乾燥工程まで終了した状態の茶。
い	
移住受入情報発信集落	移住希望者向けに、集落の魅力や学校・病院などの社会インフラなど集落をPRする情報を発信している集落。
移住相談役	移住希望者の集落への移住がスムーズに行えるよう集落の案内や移住相談に当たる人。
いちごパッケージセンター	生産者に代わり、いちごの選別及びパック詰めを行う施設。
インバウンド	訪日外国人旅行（客）。
う	
ウインドウレス鶏舎	窓のない閉鎖型断熱構造の鶏舎。無窓鶏舎ともいう。舎内の温度や湿度は機械換気によって調節する。
受入団体等登録制度	新規就農を目指す方を支援するため、技術習得のための研修先や営農開始時に必要となる経営資源の手当てなど、就農希望者の受入態勢を整えた産地や農業法人等を登録する長崎県独自の制度。
え	
エコフィード	食品残さ等を利用して製造された飼料。“環境にやさしい (ecological)” や “節約する (economical)” 等を意味する “エコ (eco)” と “飼料” を意味する “フィード (feed)” を併せた造語。
餌寄せロボット	人に代わり自動的に給餌した飼料を牛の口が届く範囲へ掃き寄せる機械。牛が自ら押し出し、届かなくなった飼料を押し戻すことで、採食量や乳量の増加に効果がある。
園芸作物産地拡大推進会議	長崎県の水田における園芸作物の産地拡大を推進するため、県、市町、JA 等関係機関が構成員となり、設立された組織。
お	
オールインオールアウト	各ステージの豚舎を空にして、新たな豚群を一度に導入して一定期間飼養し、また一度空にする飼養管理方法。
お試し移住	農山村集落への移住を進めるため、移住希望者が集落の方との触れ合いや農泊を活用した体験。
オレイン酸	牛肉に多く含まれる不飽和脂肪酸の一つで、肉の美味しさに大きく関係している注目されている成分。
か	
カーボン・オフセット	市民・企業等が、自身の温室効果ガス排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資し、埋め合わせ（相殺＝オフセット）すること。
額縁明渠	水田の畦畔に沿って掘った排水溝。
家畜排せつ物法	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進を図り、もって畜産業の健全な発展に資するため、家畜排せつ物の管理の方法及び堆肥舎等の施設の構造設備に関し、畜産業を営む者が遵守すべき管理基準を定めた法律。
カバークロープ栽培	主作物を栽培していない時期に、イネ科牧草やマメ科作物等の緑肥を栽培すること。緑肥で地表面を覆うことによる土壌流亡の防止や緑肥の土壌中へのすき込みによる有機物の供給などの効果がある。
株冷処理	いちごの苗を暗黒低温条件で貯蔵し、いちごの花芽分化を促進させる技術。
簡易ハウス	びわの寒害対策と品質向上を目的として、初期投資額を抑えるため、資材の一部を簡素化して設計されたハウス。
環境制御技術	施設園芸において、ハウス内の気温や湿度、日射量、二酸化炭素濃度などを測定し、コンピューターや様々な制御機器を用いて作物の生育に最適な環境を保つ技術。
環境保全型農業直接支払交付金	農業者等が実施する化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農の取組に対し支援する制度。
関係人口	日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な関わりを持っている人。
緩衝帯	イノシシ、シカ等の野生鳥獣のエサ場や隠れ場所をなくし、野生鳥獣が近寄りにくい環境を作るため、農地周辺の草刈や間伐等を行った場所。
き	
基本構想水準到達者	農業経営基盤強化法に基づき市町村が策定した基本構想で定める所得・労働時間の目標水準に達している農業者（認定農業者を除く）。
キャトルステーション	繁殖経営で生産された子牛の育成を集約的に行う施設。
キャトルブリーディングステーション	繁殖雌牛の分娩・種付け等を集約的に行う施設。
牛群監視システム	牛の発情や分娩、疾病兆候をセンサーとAIで感知するシステム。
牛群検定	農家が飼養している乳用牛1頭ごとの状態を把握し、飼養管理の改善や乳用牛の改良に役立てるシステム。
給餌ロボット	設定した時間に設定した量の飼料を自動で家畜に供するロボット。
業務用米	中食、外食向けの比較的価格が安い主食用米。

く	
クーリング・パッド	多孔状の板（パッド）に水を浸湿させ、パッドを通過する空気を気化熱を利用して冷却（クーリング）するシステム。畜舎の壁面の一部に設置し、パッドで冷却した外気を取り込むことで畜舎内の温度を低下させることができる。
クラウド型森林 GIS	GISとは位置に関する情報を持ったデータを視覚的に表示したもの。現在、林業関係で用いられている GIS システムをクラウド型にすることで、自治体や林業事業者のデータ共有・活用とセキュリティ・更新・管理機能の強化を図る。
グローバル化	経済活動や社会活動などが地球規模でつながり、広がっていくこと。
け	
経営耕地	農林業経営体が経営している耕地。
ゲノミック評価	DNA を構成する塩基配列のうち、牛個体ごとに1つの塩基が変異している特定の箇所の検査結果とその牛の枝肉成績等を分析し、その相関関係を遺伝的能力として評価する手法。
ゲノム情報	生物の細胞の核に含まれている染色体に刻まれている遺伝情報をゲノム情報という。
県産茶指定店	長崎県産茶の商品を通年で3アイテム以上販売して県産茶の普及に積極的に取り組み、県から認定を受けた販売店。
県産米指定店	長崎県産米を3種類以上販売して県産米の普及に積極的に取り組み、県から認定を受けた販売店。
県民米	長崎県内で生産された主食用米「なつほのか」「にこまる」「つや姫」「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」の総称。
県有種雄牛産子	父牛が県所有の種雄牛である子牛。
こ	
高性能林業機械	作業の効率化や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。2つ以上の仕事を一つの工程でできる機械。
高設栽培	いちご等の栽培において、立った状態で作業が可能となるように栽培槽を高く設置する栽培システム。
耕地	農作物の栽培を目的とする土地。けい畔を含む。
個別施設計画	治山施設の長寿命化を目指すため、治山施設毎の具体的な対応方針を定めた計画。
コンテナ苗	硬質樹脂製などの容器で育苗し、根鉢が成型された苗。活着率が良好で、植栽時期の幅が広い。
コントラクター	飼料作物の作付や収穫、調製作業を一定料金で請負う組織。
さ	
3年据え置き栽培	定植後、株の植え替えをせずに3年間継続して栽培及び収穫を行うこと。
作業路網	間伐等の森林施業の実施に必要な道路。林業専用道と森林作業道を指す。
搾乳ユニット自動搬送装置付きパイプライン	繋ぎ飼いの牛舎内で頭上に設置されたレールを用い、搾乳ユニットを乳牛の近くまで自動的に搬送する装置。これにより、搾乳ユニットを持ち運ぶ労働が軽減される。 (パイプライン：搾乳機（ミルクカー）により搾った生乳を牛舎や搾乳室に配管されたパイプを通じて冷却装置（バルククーラー）に送り、冷却・貯蔵する方式。この配管そのものを指す場合もある。)
搾乳ロボット	人に代わり自動的に搾乳する機械。具体的には穀類などの飼料により牛を柵に誘導し、牛が柵内に入ると乳頭をセンサーで検出し、搾乳のためのカップを装着して搾乳する。搾乳が終了するとカップを自動的に離脱させて、牛を退出させる。牛はいつでも好む時に自らロボットに入ることができ、ストレスを与えず乳量も増える。
山間農業地域	林野率80%以上かつ耕地率10%未満の市町及び旧市町村。
産地計画	JA 部会、農業法人等が、販売額増加を目指して、産地規模拡大や高品質化、多収化等、今後5年間の目標を設定し、目標実現に向けた生産対策、担い手の確保、販売対策等の取組を記した行動計画。
山地災害危険地区	地形や地質、植生状況等の条件により、統計的に森林の状態を評価し、崩壊や土砂流出等の危険が高いと考えられる地区。Aランク>Bランク>Cランクの順に危険度が高い。
し	
シートマルチ栽培	高精度みかん生産のために、夏季に樹冠下の地面をシートマルチで被覆することで、土中に余分な水分を入れず、果実の糖度を高める栽培方法。
直挿し	花き等の栽培において、育苗を省略し、挿し木用の枝や茎をそのまま本圃に定植する方法。
自給的農家	経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。
資源保全活動	中山間地域等直接支払や多面的機能支払の対象となる、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の補修など、多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動。
シストセンチュウ抵抗性	ジャガイモの減収を引き起こすジャガイモシストセンチュウの卵のふ化を促進し、幼虫が根に侵入すると死滅させることで、土壤中のセンチュウ密度を低減する性質。
実践教育ハウス	長崎県立農業大学校に設置された農業用ハウスで、野菜、花き等の生産から販売までの模擬経営を行うことにより経営感覚を養成するハウス。
指定園制度	長崎県のみかん等の産地において、高精度みかん等のブランド果実を生産するため、栽培マニュアルで指定した生産資材、管理方法を行う園を一筆ずつ登録する制度。
指定棚田地域	棚田地域振興法に基づき、棚田等の保全を図るため、棚田地域振興活動が円滑かつ確実に実施されると見込まれる棚田地域として国が指定した地域。
自動給水栓	ほ場の水位（湛水深）を自動的に感知し、水位が低下すると自動的に給水栓が開き、水管理の手間の大幅な省力化が可能となる施設。
ジビエ	食材となる野生鳥獣肉のことをフランス語でジビエ（gibier）という。地域資源としてジビエの利用が全国的に広まっている。
周産期病	乳牛が分娩により栄養バランス等を崩して発症する疾病。一般に、分娩前後及び産後1ヶ月以内に発症する疾病をいう。

集落営農組織	集落を基本的な単位として、規約等を定め、経理を一元化し、共同で農業経営を行う任意組織。
集落営農法人	集落営農組織が法人化した組織。組織の継続性や従業員の福利厚生の確保、資金の調達や農地の権利設定等の面でメリットがある。
集落支援員	地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有するとして地方自治体が委嘱し、集落の巡回、状況把握等を行い、必要な施策の実施につなげる人材。活動経費は、総務省から財源が手当てされる。
主業農家	農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家。
受精卵移植（ET）	優秀な母牛にホルモン処置を行い過剰排卵を起こした上で、人工授精を行い胎内に多数の受精卵をつくり、これらを採卵して代理母となる雌牛の子宮に移植することで子牛を得る技術。（ET:Embryo Transfer）
出荷予測システム	ほ場別の定植日・面積等の基本情報と気象データ、生育予測モデルを用いて、ほ場別にシミュレーションを行い、野菜等の出荷時期と数量を予測するシステム。
主伐・再造林	利用期を迎えた人工林を伐採した後、再度植栽し、森林資源を持続的に利用すること。
準主業農家	農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家。「若い兼業農家」であることから、地域の担い手となっていることが多い。
省力樹形	樹高の低い木を整列して密に植栽し、栽培管理の省力化に繋がる樹形の総称。びわの低樹高化、みかんの根域制限等。
食味ランキング	一般財団法人日本穀物検定協会が、炊飯した白米の食味官能試験を行い、米の食味を5段階で評価したランキング。5段階の最高評価が特A。
ジョブコーチ	農福連携を推進するため、障害者を受け入れる際の留意点を農家などに助言する農福連携技術支援者（いわゆる「農業版ジョブコーチ」）。
新規自営就農者・新規雇用就業者	新規自営就農者：新たに自らが農業経営を開始した者。 新規雇用就業者：農業法人等に就職し、新たに農業に就業した者。
新規就農相談センター	新規就農者の確保・育成を推進するため、就農希望者の支援窓口として、相談から研修、就農までの一体的な支援を行う県の機関。
人工林	人為的に樹木を植栽して、森林にしたもの。
森林環境譲与税	市町村及び都道府県が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため、国から市町村や都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与される税。
森林経営計画	「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、一体的なまとまりのある森林を対象として森林の施策等について策定する5年間の計画。
森林作業道等	林道、林業専用道（大型トラックの走行できる規格）、森林道（小型トラックの走行できる規格）の合計。
森林整備担い手対策基金	長崎県の林業の担い手を安定的に確保するために設置された基金。林業労働者の技術・技能の向上、労働安全衛生及び福利厚生の実施などの対策を実施。
す	
水田の整備済み面積	農村整備事業により10a以上に区画整理された面積（再整備面積を除く）
水田畑地化	水田に野菜などの畑作物の導入を容易にするため、排水対策等を実施し、水田を畑地として利用すること。
スマート畜産	スマート農業の中でも畜産分野でのスマート化のこと。
スマート農林業	ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農林業。
せ	
性選別精液	X染色体を持つ精子（雌）とY染色体を持つ精子（雄）のDNA量の違いを利用して、X染色体を持つ精子とY染色体を持つ精子を選別した精液。
整列樹形	整列して植栽し、作業動線を単純化するとともに、作業道を確保することで機械導入が容易になるなど作業効率化を目的とした樹形。
施業プランニング	路網設計や間伐方法等の森林施業の方針、搬出間伐等の施業の事業収支を示した施業提案を行うこと。また、それを森林所有者に提示して合意形成と森林施業の集約化を図ること。
そ	
ゾーニング	土地利用の内容に沿って一定のまとまりをもって農地を区分すること。団地化。
操舵アシスト技術	ほ場外周の手動走行等により取得した圃場情報をもとに走行ルートを設定し、このルートに沿ってハンドル操作を自動化する技術。
た	
体験農園	野菜収穫体験や郷土料理体験など、地域資源を活用した各種体験ができる農園。
代謝プロファイルテスト	血液生化学検査や飼料設計等によって牛群の摂取飼料の量や成分のバランスを客観的に評価する方法。
対州そば	対州（対馬国の別称）在来のそばで、他産地のそばと比べると、食味・風味に優れ、苦味を有するというそばの原種に近い特性を有している。平成30年に国の地理的表示保護制度（GI）において、「対州そば」の名称が知的財産として登録された。
多産系母豚	通常の母豚と比べて1分娩あたりの産子数が増えるように遺伝改良が進んだ繁殖用母豚のこと。
ため池工事特措法	農業用ため池の決壊による被害を防止するため、都道府県による防災重点農業用ため池の指定及び防災工事等推進計画の策定、国の財政上の措置等を定めた法律。
ため池ハザードマップ	ため池が決壊した場合の下流域の浸水想定区域（被害範囲）、洪水の到達時間や浸水深、さらには避難経路、避難場所などの情報を図示した地図。

多面的機能	農林業・農山村が持つ、国土の保全、水源かん養、豊かな自然環境や美しい景観の保全、文化の継承など、農山村で農林業が営まれることにより生ずる、農林産物の供給以外の多面にわたる機能。
短茎多収栽培	花き栽培において、通常の規格よりも茎が短い状態で出荷することで、作付回数の増加や密植により収穫本数を増加させる栽培方法。
ち	
地域おこし協力隊	都市地域から条件不利地域に一定期間（1年～3年）移住し、地方自治体が委嘱して地域の活性化に取り組む人材。活動経費は、総務省から財源が手当てされる。
地域貢献活動	直売所が高齢者対策や移動販売など地域の活性化に貢献する活動。
地域雇用労力支援協議会	地域内労力の実態調査や地域で周年雇用が可能となる品目の組み合わせ提案、農家の労務管理能力向上研修などの活動を行う市町、農協、県振興局等で構成された協議会。
地域就農支援センター	新規就農者の確保・育成を推進するため、県（振興局）、市町、農業団体等で構成された組織。就農啓発活動や新規就農希望者への支援活動を実施。
地域中核量販店	首都圏、関西圏等においてチェーン展開している量販店。
地域の顔となる産品づくり	地域の所得確保及び認知度向上につながる地域特産の農林産物や加工品を商品化すること。
畜産クラスター 畜産クラスター計画	畜産クラスターは、畜産農家をはじめ、地域の畜産関係者（農協、飼料メーカー、行政機関等）がクラスター（ぶどうの房）のように連携・集結し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制。 畜産クラスター計画は、生産者や関係団体で構成される畜産クラスター協議会が地域の畜産の収益性向上を図るための計画。
チャレンジ園芸1000億	令和7年度の園芸産出額1000億円の実現に向け、産地計画を基軸として行う生産・流通・販売対策。
チャレンジ畜産600億	令和7年度の畜産産出額600億円の実現に向け、産地計画（畜産クラスター計画）を基軸として行う生産・流通・販売対策。
中間農業地域	・耕地率が20%未満で、都市的地域及び山間農業地域以外の市町及び旧市町村。 ・耕地率が20%以上で、都市的地域及び平地農業地域以外の市町及び旧市町村。
中山間地域	山間地及びその周辺の地域その他の地勢等の地理的条件が悪く、農業生産に不利な地域。
中山間地域等直接支払	農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取決め（協定）を締結し、農業生産活動等を行う場合に、平地との生産費などのコスト差を補正し、面積に応じて一定額を交付する仕組み。
長期不受胎牛	授精を複数回行っても受胎しない牛のこと。長期不受胎牛には、臨床的な疾患が認められないリピードブリーダーや、発情周期異常、排卵遅延、子宮内膜炎など様々な症例が見られる。
鳥獣被害対策実施隊員	鳥獣被害防止特措法に基づき、市町村が作成する被害防止計画に沿って捕獲、防護柵の設置等、鳥獣被害対策の実践・指導を行う者。
超早期母子分離技術	分娩後、母牛と子牛が同居し、母牛が子牛を育成する従来の方式に代えて、分娩後3～5日で母子を分離して、人工哺育で子牛を育成する技術。子牛の事故率低下と母牛の分娩間隔短縮の効果がある。
つ	
対馬地鶏	日本農林規格（JAS規格）に定義されている在来種（38品種）の中の1つで、古くから長崎県北部の離島、対馬で飼養されていた。外観的な特徴として、羽毛は褐色で雄の頸部は鮮やかな黄金色を呈し、雄雌ともに鶏独特の肉味がなく、代わりにあご髭状の羽毛を有している。
て	
データ駆動でつなぐスマート農業	データに基づき生産管理や自動作業を行うスマート農業技術を複数取り入れて構築された営農体系。
低コスト耐候性ハウス	パイプハウス等の基礎部分や接合部分を、強風や積雪に耐えられるように補強・改良することで十分な強度を確保したハウスであり、設置コストが同規模・同強度の鉄骨ハウスの7割以下のもの。
摘芯技術	生長点を摘むことで草丈を抑制し、倒伏を防ぐとともに、分枝を増やし、収量増を図る栽培方法。
デュアルライフ	都市と農山漁村に生活の拠点を有し、双方向で行き交うライフスタイル。二地域居住。
田園回帰	都市部から過疎地域に人の移住・定住の動きが活発化している現象。
碾茶（てん茶）	抹茶の原料で、碾茶を粉に挽いたものが抹茶。被覆栽培した茶の生葉を蒸して、揉まずに乾燥したもの。
と	
等高線区画	地形が複雑で等高線が湾曲している傾斜地における農地の基盤整備では、切盛土量が莫大となるため、等高線に沿って切盛土量を抑えるほ場形状とする農地整備の手法。
登熟期	開花後、稲の子実が充実していく時期。
特定技能外国人	深刻化する人手不足に対応するため、生産性向上や国内人材の確保のための取組を行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野（特定産業分野）において、一定の専門性・技能及び日本語能力を有すると認められて在留資格を有する外国人。
特定技能外国人受入連絡協議会	外国人材が安全で安心して暮らし、就業できる環境を整備するため、地域段階に自治会をはじめ、市町等関係機関・団体を構成員とする協議会。
特定地域づくり事業の推進に関する法律	地域人口の急減に直面している地域において、地域社会及び地域経済の担い手を確保するため、特定地域づくり事業協同組合の認定その他財政上の措置等を定めた法律。
特定複合観光施設（IR）	国際会議場や展示施設、ホテル、エンターテインメント施設等にカジノを含んだ複合的な観光施設。 （IR: Integrated Resort）
篤農家	農業に携わり、その研究・奨励に熱心な者。
特用林産物	本来森林や原野から得られる産物のうち、一般木材以外の産物の総称。きのこ類、山菜類、樹脂類（うるし、木ろう、ツバキ油等）、木炭等。

都市的地域	<ul style="list-style-type: none"> ・可住地に占める DID 面積が 5 %以上で、人口密度500人/km²以上又は DID 人口 2 万人以上の市町及び旧市町村。 ・可住地に占める宅地等率が60%以上で、人口密度500人/km²以上の市町及び旧市町村。ただし、林野率80%以上のものは除く。 ・DID (Densely Inhabited District、人口集中地区) とは、人口密度4,000人/km²以上の国勢調査基本単位区がいくつか隣接し、合わせて人口5,000人以上を有する地区をいう。
土地改良区	農業用排水施設の整備や区画整理等の土地改良事業を実施し、施設の維持管理を行う農業者の組織。行政に代わって事業を行う公共団体で、法人格を有する。
トップファーマーフェア	長崎市内の店舗等において、「ながさき農林業大賞」受賞者の生産物の販売と PR を行うイベント。
ドローン	人が乗ることができない無人飛行機で、遠隔操作や自動操縦により飛行させることができるもの。
な	
ながさき移住サポートセンター	長崎県が設置している移住相談の窓口。県庁舎と東京のふるさと回帰センターに窓口がある。
長崎型統合環境制御装置	長崎県内の企業と県が連携して開発した統合環境制御装置（ハウス内の気温や湿度、日射量、二酸化炭素濃度などを組み合わせて作物の生育に最適な環境を保つ装置）。必要な機能に絞ることでコストを低減。
長崎県食品開発支援センター	食料品製造業等の振興を図るため、県産農産物等を原材料とした加工食品の高付加価値化に向けた試作開発からテスト販売までの一貫支援を実施する県の機関。
長崎県食品の安全・安心条例	食の安全・安心の確保に関する基本理念や、行政、食品関連事業者、消費者各々の責務と役割などを定めた長崎県の条例。
長崎県森林ボランティア支援センター	県民参加の森林づくりを推進するため、森林ボランティア団体等の連携を強化するとともに、新たに森林ボランティア活動に取り組みようとする団体等の相談窓口として支援を行う県の機関。
長崎県治山関係施設維持管理等行動計画	長崎県における治山施設の維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにした県の計画。
長崎県中山間地域ボランティア支援センター	農山村集落の住民と県民の協働活動（環境保全活動、祭り等のイベント、加工品開発等）を推進するため、環境保全等に関心のある企業、学生サークル、自治会、個人等を募集し、農山村集落とマッチングを行う機関。NPO 法人地域環境研究所に県が委託して実施。
長崎県農産物輸出協議会	生産者団体、関係事業者、市町、県等で構成された組織で、長崎県産農産物、農産加工品の輸出拡大に向け、セミナー開催や海外での長崎フェアの開催等を実施。
長崎四季畑	長崎県産の農産物を原料として使用し、品質面・衛生面の基準をクリアし、県が認証した長崎県ブランド農産加工品。
ながさき森林環境税	平成19年度から始まった森林保全のための長崎県独自課税。荒廃した森林の整備や県産木材の利用促進などに使われている。
ながさき地産地消こだわりの店	長崎県産食材を一定割合以上使用した料理を提供し、県産食材の使用を PR するなど、地産地消に積極的な取組を行い、県から認定を受けた県内の飲食店、ホテル、旅館等。
ながさき農業オープンアカデミー	農業経営者を対象とする長崎県内の若手農業者を対象とした経営力向上のための講座。講師には県内外のトップレベルの経営者や先進農家などの専門家を迎え、経営力向上に必要な知識習得や事例研究、グループ討議等を通じて自らの経営計画のブラッシュアップを行う。
ながさき農林業大賞	長崎県内で地域の特色を活かした先進的な農林業を展開して成果を上げている農業者や組織等を表彰する事業。
長崎和牛	長崎県で、肥育を目的として生産された和牛の総称。夏は比較的涼しく、冬は比較的暖かい環境で育てられ、その牛肉は赤身の旨みと脂身のまろやかな味わいが特徴。
長崎和牛指定店・協力店	長崎和牛指定店は、長崎和牛を常時取り扱い、消費者への普及啓発に努め、長崎和牛銘柄推進協議会から認定された販売店、飲食店。 長崎和牛協力店は、長崎和牛を期間限定で取り扱い、消費者への普及啓発に努め、長崎和牛銘柄推進協議会から認定された販売店、飲食店。
長崎和牛銘柄推進協議会	長崎和牛の生産者、JA 団体、食肉流通団体、県等で構成された組織。「長崎和牛」の PR 活動や販路拡大対策、長崎和牛指定店の認定等に取り組んでいる。
に	
担い手育成計画	JA 部会や農業法人等が策定する、産地の担い手確保に向けた具体的な行動計画。
乳牛育成預託施設	農家から生産された乳用雌牛を預かり、育成期間中、集約的に飼養管理を行う施設または牧場。
認定新規就農者	農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村から青年等就農計画の認定を受けた新規就農者。
認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的で安定した魅力ある農業経営に向けた 5 年後の経営目標を記した農業経営改善計画を作成し、市町村、県または国から認定を受けた農業者。
の	
農家レストラン	農家自ら又は農家と連携し、地域の食材を使った料理を提供、かつその地域で運営されるレストラン。
農業委員	市町村長が議会の同意を得て任命する農業委員会の委員。農地の権利移動の許可等に関して、委員会に出席し審議を行い、最終的に合議体として意思決定を行う。農地利用最適化推進委員と連携して現場活動を行う。
農業経営改善計画	農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的かつ安定的な魅力ある農業経営を目指し、農業者自らが作成する 5 年後の経営目標を記した計画書
農業経営改善計画の共同申請	共同経営を行う夫婦・親子等が共同で農業経営改善計画の認定申請を行うこと。
農業経営収入保険	保険期間の農産物の販売収入が基準収入の 9 割を下回った場合に、下回った額の 9 割を上限に補てんする公的保険制度で、自然災害だけでなく価格低下等、様々なリスクによる収入減少を補償。

農業サービス事業体	農業者等から委託等を受けて、農作業や作業員の派遣等のサービスを提供する事業体。
農業再生協議会	麦・大豆、飼料作物等の生産振興や米の需給調整の推進など、地域農業の振興に資することを目的として、行政と農業者団体が構成員となり、都道府県段階と地域段階に設立された組織。
農業産出額	農畜産物の品目ごとの生産量（最終生産物のみ。中間生産物を控除。）に、品目ごとの農家庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて算出した金額。
農業士	自らの優れた農業経営の実践を通じて、地域の青年農業者に励みと目標を与え、その育成に指導的な役割を果たす農業者（県知事が認定）。
農業次世代人材投資事業	就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）と経営が不安定な就農直後（5年以内）の経営確立を支援する資金を交付する事業。
農業就業人口	15歳以上の世帯員のうち、自営農業のみに従事した者または自営農業とその他の仕事の両方に従事した者のうち自営農業が主の者。
農業集落	市区町村の区域の一部において農業上形成されている地域社会。もともと自然発生的な地域社会であって、家と家とが地縁的、血縁的に結びつき、各種の集団や社会関係を形成してきた社会生活の基礎的な単位。
農業所得1,000万円以上が可能となる規模	雇用型経営や法人化に必要な所得水準である農業所得1,000万円を確保することができる経営規模。水稻・麦・大豆で30ha、露地野菜で8ha、繁殖牛で80頭など。
農業大学校	地域の農業事情や社会情勢に応じた農業後継者の育成を主な目的として設置されている道府県の教育施設。高卒程度の学力を有する者を対象に、原則2年間の研修教育を実施。
農研機構	「国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構」の略称。日本の農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究開発を行う機関。
農作業受託組織	耕耘や収穫作業などを受託し、特定のオペレータが農作業を実施して一定の受託料を受取る組織。
農山村集落	市町村の区域の一部において、農業上形成されている地域社会。農林業センサスにおける農業集落と同じ（0戸集落を除く）。
農山村地域への移住者数	農山村集落へ移住者を呼び込むモデル事業による移住者数とUIターン新規自営就農者数の合計値。
農商工連携	農林水産業者と商工業者がお互いの技術やノウハウを持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むこと。
農地中間管理事業	農地中間管理機構（本県の場合、長崎県農業振興公社）が、農地を貸したい農家から農地を借り受け、経営規模拡大や農業経営の効率化を進める担い手への農地の集積・集約化を推進する事業。
農地付空き家	農地が付随した空き家。農地の権利取得に当たって下限面積要件を下回る面積を「別段の面積」として設定することができる。
農地利用最適化推進委員	農業委員会が委嘱する委員で、担当地区における農地等の利用の最適化の推進に向けた現場活動を行う。
農の雇用事業	農業法人等が就業希望者を新たに雇用して、生産技術や経営ノウハウ等を習得させる経費の一部を助成する事業。
農泊	旅行者が地域ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しみ、農家民宿、古民家を活用した宿泊施設など、多様な宿泊手段によりその土地の魅力を味わってもらう農山漁村滞在型旅行。
農福連携	障害者等が農業分野で就労することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。
は	
バーンミーティング	机上ではなく、実際に農家の牛舎内で牛を見ながら飼養管理等について検討を行うもの。
パイプライン化	農業用水不足や開水路の老朽化等を解消するために、農業用水を送配水する用水管を地中に埋設すること。
畑地の区画整理及び畑かん整備済み面積	面積の大小に関わらず農村整備事業により整備された面積
花商組合	花屋の技術向上や花きの消費拡大等を目的として活動する県内の花屋の協同組織。
春芽・夏芽	アスパラガスは収穫時期により2種類に区分され、2月～5月にかけて収穫されるアスパラガスを春芽、6月～10月にかけて収穫されるアスパラガスを夏芽という。
搬出間伐	伐採した木や枝を林外に運び出し、利用するための間伐。利用間伐。
半農半X	農山村で副業・兼業などの多様なライフスタイルを実現するための、農業と他の仕事を組み合わせた働き方。
販売農家	経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家。
ひ	
肥効調整型肥料	肥料成分の溶出を様々な方法で調節した化学肥料で、緩効性窒素肥料、被覆肥料、硝化抑制剤入り肥料の3種類がある。
人・農地・産地プラン	人・農地プランに、品目の作付計画を連動させた地域農業の将来像。誰（地域の担い手）が、どのエリアで、何を作付けするかを明確化することで、団地化や排水対策等の条件整備を推進。
人・農地プラン	農業者が話し合いに基づき、地域において中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者や農地の利用など、地域における農業の将来の在り方（将来像）を明確化したもの。
非破壊検査	農作物の糖度や内部腐敗等について、近赤外線などを利用し、農作物を傷つけることなく判別する検査。
ふ	
フェロモントラップ	害虫の発生状況を把握するため、人工的に合成した性フェロモンを吸着させた誘引剤を捕獲器（トラップ）の中に入れたもの。
副業的農家	主業農家及び準主業農家以外の販売農家。
部分浅耕—工程播種技術	トラクターのロータリーに長い爪と短い爪を交互に装着して種を播く部分は浅く耕し、荒起こしの工程と同時に播種を行う技術。
分娩間隔	繁殖牛の分娩と分娩の間隔を表す技術指標。

へ	
平地農業地域	・耕地率20%以上かつ林野率50%未満の市町及び旧市町村。ただし、傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑との合計面積の割合が90%以上のものを除く。 ・耕地率20%以上かつ林野率50%以上で、傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が10%未満の市町及び旧市町村。
ほ	
捕獲隊	狩猟免許を所持するリーダーと、免許を持たない地域の農家等で結成し、狩猟免許を持たない者も捕獲作業の補助が行える制度を活用して、地域自前で野生鳥獣を捕獲する集団。
ほ場管理システム	ほ場や作物ごとに作業内容や生育状況などの生産データや会計・労務管理などの経営データを記録・管理し、年間作付計画の作成やコスト・収益などの分析ができるシステム。
ま	
マルチワーカー制度	特定地域づくり事業協同組合が、地域内の複数の事業を組み合わせることで年間を通じた仕事を創出し、組合で雇用した職員を事業者に派遣することで、マルチワーカーとして地域の担い手（地域づくり人材）を確保する制度。マルチワーカーの人件費等が国及び地方自治体からの財政支援の対象となる。
み	
みかんのプレ選果機	家庭選別を行わずに選果場に持ち込み、AIによる画像解析で、腐敗果や傷み果を自動で排除する選果機。家庭選別が不要となり、大幅な省力化に資する。
「緑の雇用」事業	林業の担い手育成を目的として、都道府県知事の認定を受けた林業事業体に対し、新規就業者を雇用して行う研修等に必要経費を支援する事業。
め	
雌牛群	繁殖用に飼養されている複数の雌牛の集団。
メッシュ農業気象データ	緯度・経度に基づき地域を隙間なく網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域ごとの気温や日照時間などを推計した気象データ。農業分野では1kmメッシュ（第3次メッシュ区画、標準地域メッシュ）や50mメッシュで利用されている。
も	
木材サプライチェーンマネジメント	原木の段階から製材品が消費者の手に届くまでの一連のプロセスにおいて、関係する事業者間で情報を共有・連携し、サプライチェーン全体で物（木材）やお金の流れの最適化を図る経営管理手法。
もと牛価格	肉用牛肥育経営における、肥育牛の材料となるもと牛の購入価格で、生産原価の多くを占める。もと牛価格は、牛肉の消費や食肉市場、子牛市場の相場等の要因により複雑に影響を受ける。
物日（ものび）	3、9月の彼岸、8月のお盆、12月の年末など、花を活用する機会が多く、需要が高まる時期。
や	
夜冷技術	花きの施設栽培において、ヒートポンプ等を活用し、夜間に冷房を行うことで、夏場の高温による開花遅延や、奇形花の発生を抑制する技術。
ゆ	
有機栽培、特別栽培	有機栽培（有機農業）は、化学肥料及び化学合成農薬を使用しないこと、並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業。 特別栽培は、生産された地域の慣行レベル（各地域の慣行的に行われている化学合成農薬及び化学肥料の使用状況）に比べて、節減対象農薬の使用回数が50%以下、かつ化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培を行うこと。
よ	
養豚ベンチマーキング	繁殖成績、肥育成績など各種の成績を経時的に測定し、そこから導かれる「年間分娩回数」「飼料要求率」「単位当たりの飼料費」などの生産指標を、成績優秀な他農場の数値と比較することで、問題点を早期に発見し、収益性の向上につなげる経営管理手法。
ら	
酪農・肉用牛ヘルパー組織	畜産農家が休日を取得する場合や病気等で日常の飼養管理等ができない場合に、一定料金で作業を代行する組織。
ラジコン草刈機	遠隔操作（ラジコン）で草刈を行うロボット。
り	
リーフ茶	急須で淹れる緑茶、またその緑茶葉。
リカレント教育	農業者の更なる資質向上のために行う教育・学び直し。
リモートワーク	従業員がオフィスに出社することなく、会社以外の遠隔の場所で業務を行うこと。
林業産出額	国内の林業生産活動によって生み出される木材、栽培きのご類、薪炭等の生産額の合計。
林業専業作業員	林業事業体に雇われて、主に年間180日以上林業施業に従事する者
林業版産地計画	林業事業体が策定する、作業班ごとに森林整備の事業量を見える化し、生産性向上や事業量拡大に向けた取組及び実施体制を具体的に記載した計画。
林野副産物	山林から採取されるきのご等の天然の産物で、きのご、樹皮、樹実（くり、くるみ等）、木ろうなどが含まれる。
れ	
冷温定湿貯蔵システム	貯蔵庫内の温湿度を高精度に制御し、果実の鮮度を保持したまま長期貯蔵が可能となるシステム。

ろ	
6次産業化	1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。
六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画	農林漁業者等が経営改善を図るため、農林漁業及び関連取組（加工、直売等）を総合的に進めていく事業計画で、国が認定。
路網整備	森林施業の効率化等を図るため、林道等（車道）と森林作業道を適切に組み合わせた道路のネットワークを整備すること。
わ	
ワーケーション	「work=仕事」と「vacation=休暇」を組み合わせた造語。リゾート地や帰省先等に休暇や研修を兼ねて短中期的に滞在し、パソコン等を使って仕事を行う取組。
ワクチネーションプログラム	各農場毎に問題になる疾病について、ワクチンの種類、投与時期、投与方法を設定したもの。

(2) アルファベット順

A	
AI	人工知能 (Artificial Intelligence)。コンピューターを使って、学習・推理・判断など人間の知能の動きを人工的に実現したもの。
A 級インストラクター	イノシシの生態や行動に関する正しい知識を持ち、各地域で対策を進めるリーダーに対して、地域に合った被害防止対策を指導する者。
C	
CSF、ASF	CSF（豚熱）及び ASF（アフリカ豚熱）は、ウイルスによって引き起こされる豚やイノシシの法定伝染病で、高い致死率や強い伝播力が特徴。発生農場は全頭殺処分され、周辺農場にも移動に制限が課せられる。ASF は国内未発生。
D	
DNA マーカー	遺伝子診断技術の一手法。人では、ガンになりやすい遺伝子の有無を検出診断できるが、作物でも病気に対する耐性を持つ遺伝子などの有無を検出でき、これを DNA マーカー選抜技術という。品種を育成する際に、望ましい形質の遺伝子を持つ個体を選ぶために使われる。
E	
EC サイト	インターネット上で電子商取引 (Electronic Commerce) により商品を販売する Web サイト。
ESG 投資	従来の財務情報だけでなく、環境 (Environment)、社会 (Society)、企業統治 (Governance) を考慮して行う投資。
G	
GAP 認証	取引先や消費者が直接確認できない農産物の生産工程における、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性の取組を、第三者が審査して証明すること。[GLOBALG.A.P.]「J-GAP」等がある。 (GAP: Good Agricultural Practice)
I	
ICT	情報通信技術 (Information and Communication Technology)。
ICT ベンダー	情報通信技術に関連した機器やソフトウェア、システム、サービスなどを販売する企業。
J	
JA 部会	JA の組合員組織のうち、農作物の種類ごとに生産者が組織した作目別生産組織。
JETRO	独立行政法人日本貿易振興機構。日本の貿易の振興に関する事業、開発途上国・地域に関する研究を幅広く実施。
S	
Society5.0	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会 (Society)。
SS	乗用型の農薬散布機（スピードスプレーヤー）の略称。
T	
TMR センター	粗飼料、濃厚飼料、添加物等を混合し、牛が必要とするすべての栄養素をバランスよく含んだ飼料を農家の庭先まで配送する組織。栄養的に均一で選び食いが出来ないという特徴がある。(TMR: Total Mixed Ration (完全混合飼料))
TPP11、日 EU-EPA、日米貿易協定	<ul style="list-style-type: none"> ・ TPP11：アジア太平洋地域の11カ国の経済連携協定で2018年12月に発効。 ・ 日 EU・EPA：日本と欧州連合間における経済連携協定で2019年2月に発効。 ・ EPA（経済連携協定）：物品の関税やサービス貿易の障壁等を削除・撤廃することに加え、投資ルールや知的財産の保護等も盛り込み、より幅広い経済関係の強化を目指し特定国・地域の間で締結される協定。 ・ 日米貿易協定：関税や輸入割当などの制限的な措置を、一定の期間内に撤廃もしくは軽減することなどを取り決めた日本と米国の2国間貿易協定で、2020年1月に発効。
U	
U・Iターン	県外に居住する人が、卒業、退職、転職等を機に、故郷 (Uターン) や自分の出身地以外の地方 (Iターン) に住居を移すこと。
UV カットフィルム	380ナノメートル以下の波長域の紫外線を透過しない農業用フィルム。農業用ハウスやトンネルの被覆資材に用いることで、アザミウマ類やアブラムシ類等の害虫の活動を抑える効果がある。
W	
WCS 用稲	ホールクロップサイレージ (Whole Crop Silage、稲発酵粗飼料：稲の子実と茎葉を一体的に収穫し、発酵させた牛の飼料) 用の稲。